

別記様式第五（第八条の五関係）

制限外けん引の許可申請書 年 月 日 公安委員会 殿 住所 申請者 氏名 印					
申請者の免許の種類		免許証番号			
けん引する自動車	種類	番号標に表示されている番号			
けん引される車両	種類	台	数		
けん引の全長	m		運搬品名		
けん引の方法					
けん引の年月日時	年 月 日 時から 年 月 日 時まで				
けん引の経路	出発地	経由地	目的地		
	通行する道路				
第 号 制限外けん引許可証 上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">条 件</td> <td></td> </tr> </table> 年 月 日 大分県公安委員会 印				条 件	
条 件					

備考1 申請者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができます。

2 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

※ この処分に不服がある場合には、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3月以内に、大分県公安委員会に対して審査請求をすることができます。（なお、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3月以内であっても、この処分の日の翌日から起算して1年を経過すると審査請求をすることができなくなります。）また、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、大分県を被告として（代表者は大分県公安委員会となります。）この処分の取消しの訴えを提起することができます。（なお、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であっても、この処分の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えをすることができなくなります。）なお、処分の取消しの訴えは、審査請求を行った後においては、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に提起することができます。